

年間授業計画

東京都立東高等学校 令和6年度 年間授業計画 (1学年)

教科 : 地理歴史 科目 : 地理総合 単位数 : 2 単位

対象学年組 : 第1学年 1組～7組

教科担当者 : 八巻

使用教科書 : 『高等学校 新地理総合』(帝国書院)

教科の目標 : 地理的事象のグローバルな見方・考え方を身に付けさせ、様々な世界の国々・地域の文化・社会・言語・社会制度・地形・風土の違いを学ぶことにより、多様化する世界情勢・国際情勢のなかでの共生のあり方の理解を深めていく。その中で、広い視野に立ち国際社会に主体的に生きる民主的で平和な社会の構成員として資質・能力を育んでいく。

- 【知識および技能】
 - ・事項の因果とその流れを把握することができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】
 - ・読み取った情報や自分の意見を、発言したり文章化したりして表現することができる。
 - ・提示された資料・史料から情報を読み取ることができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】
 - ・資料・史料から読み取った情報をともに共有し、議論を深めることができる。

科目の目標 :

【知識および技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代社会における世界の生活文化の多様性に関しての知識を深め、地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したりしながら、地理に関する様々な情報を適切・効果的に調べたり、まとめたりする技能を身に付けさせる。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考慮したり、説明したり、それらを基に議論したりする能力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現めざし、そこで見られる課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。さらに日本国民としての自覚、日本の国土に対する理解、世界の諸地域の生活や文化を知ろうとし、それを尊重する力を養っていく。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配 当 時 間
①地図の役割や有用性を理解させる。日本をはじめ世界のいろいろな位置や分布などに着目して地図や地球情報システム(GTS)の活用方法理解する。	地図でとらえる世界 地球上の地位と時差 地図の役割と世界	【知識・技能】生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断力・表現等】地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	2
①国際社会における国家の役割を理解するとともに、位置や分布などに着目しながら、地域間のさまざまな相互関係について考えさせる。	結び付きを深める現代世界 現代世界の国家と領域 グローバル化する世界	【知識・技能】現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解している。 【思考・判断力・表現等】現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○	○	1

1 学 期	世界各地の生活文化の特徴を理解し、その多様性の背景や変化の理由について考えさせる。	国際理解と国際協力 生活文化の多様性と国際理解	<p>【知識・技能】世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。</p> <p>世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。</p> <p>【思考・判断力・表現等】世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む姿勢】生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	地球上の様々な地形と人間との関わりについて考えさせる。 世界の気候、大気の大循環、植生などの自然環境は人間生活にどのような影響を与えているかを考えさせる。	大地形、変動態、安定地域、河川がつくる地形、海岸の地形、氷河・乾燥・カルスト地形など人々の生活。	<p>【知識・技能】世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。</p> <p>世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。</p> <p>【思考・判断力・表現等】世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	2
2 学 期	地球上の様々な地形と人間との関わりについて考えさせる。 世界の気候、大気の大循環、植生などの自然環境は人間生活にどのような影響を与えているかを考えさせる。	世界の言語・宗教と人々の生活 歴史的背景と人々の生活 国家体制とその変化と人々の生活	<p>【知識・技能】言語と民族の関わり、公用語と人々の生活への影響、宗教と生活との関わりについて理解している。</p> <p>【思考・判断力・表現力等】言語と民族の関わり、公用語と人々の生活への影響、宗教と生活との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む姿勢】言語と民族の関わり、公用語と人々の生活への影響について、また宗教と生活との関わりについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	5
	産業の発展の歴史人間生活の変化、そして産業のグローバル化は人々の生活にどのような影響を与えてきたかを考えさせる。 アメリカ合衆国、東アジア・中国・韓国、EU諸国を中心に、その現状と課題を理解させる。	世界の産業と人々の生活 産業力と生活の文化 経済成長と人間生活の変化 地域統合と生活・産業の変化	<p>【知識・技能】アメリカ合衆国、中国、韓国、EU諸国の経済発展の過程、現状・現況を理解している。</p> <p>【思考・判断力・表現等】グローバル化のなかで、これらの国が世界に与える影響について意見・考察が出来る。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】これらの国が抱えている課題・問題を社会の現実を視野に追究することができているか。</p>	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1

期	地球的課題と国際協力 地球環境問題 資源・エネルギー問題	現代世界の地球環境問題、資源エネルギー問題の課題に、その解決に向けて国の枠組みを超えての取り組みや持続可能な社会をつくるための取り組みについて考えさせる。	【知識・技能】地球環境問題、資源・エネルギー問題について各地に共通する地球的な相互の関連性について理解している。【思考・判断力・表現等】地球環境問題、資源・エネルギー問題について地域の結び付き、持続可能な社会づくりなどに注目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多角的・多面的に考察、表現している。【主体的に学習に取り組む姿勢】地球的課題と国際協力について主体的に追究・表現している。	○	○	○	8
	人口問題 食糧問題 都市・居住問題	世界の人口分布、人口増加の傾向、人口構成の傾向その対策、課題を理解させる。 食糧問題～飽食と飢餓、先進国と発展途上国、食糧問題への取り組みを理解させる。 都市問題、居住問題についてメキシコシティとポーランドの取り組みなど具体的な例に基づいて考えさせる。	【知識・技能】地球環境問題、資源・エネルギー問題について各地に共通する地球的な相互の関連性について理解している。【思考・判断力・表現等】地球環境問題、資源・エネルギー問題について地域の結び付き、持続可能な社会づくりなどに注目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多角的・多面的に考察、表現している。【主体的に学習に取り組む姿勢】地球的課題と国際協力について主体的に追究・表現している。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	持続可能な地域づくりと私たち 自然環境と防災	日本の自然環境、地震・津波と防災、気象被害と防災、自然災害への構えなどについての正しい知識を身に付けさせる。	【知識・技能】日本や世界各地で見られる自然災害や生徒の身近な生活圏で見られる自然災害を基に災害への備えや対応について理解している。【思考・判断力・表現等】地域の防災について多面的・多角的に考察し、表現している。【主体的に学習に取り組む姿勢】自然災害と防災についてその課題を主体的に取り組む追究、解決しようとしている。	○	○	○	9
	生活圏の調査と地域の展望	地域調査の方法についての具体的な方法についての理解を深める。	【知識・技能】生徒の身近な生活圏の調査を基に地理的な課題の解決に向けた取り組みや探求する手法などについて理解している。【思考・判断力・表現等】生活圏やある特定の地域についての調査方法について多面的・多角的に考察している。【主体的に学習に取り組む姿勢】地域調査について、その課題を主体的に取り組む追究、解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
合計							70